

平成29年度予算見積調書

課室名：農産物安全課
 担当名：有機・安全生産担当
 内線：4057
 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業
B28	埼玉スマートGAP推進事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業経営普及費	安全安心農産物確保対策費
事業期間	平成26年度～平成32年度	根拠法令	なし			挑戦項目		
						分野施策	020413 食の安全・安心の確保	
1 事業の概要 県産農産物の安全に対する信頼性の向上を図るため、県独自のGAP（S-GAP）の仕様改訂を行い、担い手の拡大を推進する。 (1) S-GAP普及事業 5,412千円 (2) S-GAPアップデート事業 1,756千円 (3) S-GAP評価事業 5,593千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア S-GAP普及事業 5,412千円 S-GAP普及のため、指導者を養成し、農業者への普及推進及び支援を図る。 (ア) S-GAP指導者の養成 (イ) 地区説明会の開催 (ロ) GAP情報交換会の開催 (ハ) 生産履歴管理システムの管理 (ニ) S-GAP指導者による農場指導 (ホ) S-GAP実践者と流通・小売業者等によるブランド構築支援 イ S-GAPアップデート事業 1,756千円 S-GAP仕様の改訂を行う。 (イ) S-GAP検討委員会の開催（計2回、委員11名） (ロ) S-GAP実務者会議の開催（計3回） ウ S-GAP評価事業 5,593千円 農場評価により、S-GAP実践農場を認証する。 (イ) S-GAP評価制度の運用と評価員の養成 (ロ) S-GAP評価支援システムによる、S-GAP実践農場の認証 ・S-GAP評価員による農場評価 ・GLOBALG.A.P.認証取得支援 (2) 事業計画 S-GAPの普及、S-GAPの仕様改訂、S-GAP評価及び実践農場認証 【目標】年間300戸の農場認証を行う。（5年間で1,600戸の認証） (3) 事業効果 GAP普及率が上昇することにより、県産農産物の安全性が向上する。 県産農産物のイメージ向上が消費者へのPRとなり、生産者がGAPに取り組むメリットとなる。				
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.6人=24,700千円								
				財 源 内 訳				
予算額		諸収入					一般財源	前年との対比
決定額	12,761						12,761	△4,159
前年額	16,920	3					16,917	